

東京都青梅市における基本計画の概要

計画のポイント

本市では、I o T技術を活用した生産管理システムの開発から実装までの過程で蓄積した「現場発のノウハウ」を市内産業に波及させる体制を整備し、支援することで、青梅市のロボットやソフトウェア等の生産性向上に係るI o T技術を活用した第4次産業革命を推進することにより、地域内産業における高付加価値の創出を目指す。

促進区域

東京都青梅市

経済的効果の目標

1件あたり平均140.80百万円の付加価値を創出する地域経済牽引事業を12件創出し、これらの事業が促進区域で1.45倍の波及効果を与え、促進区域で約2,450百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

青梅市のロボットやソフトウェア等の生産性向上に係るI o T技術を活用した第4次産業革命

【要件2：高い付加価値を創出すること】

・付加価値増加分：11,504万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 雇用者数：2%増加
- 売上げ：2.45%増加
- 雇用者給与等支給額：1%増加

制度・事業環境の整備

- ・おうちものづくり支援事業補助金（新製品・新技術開発等）による支援
- ・地域経済牽引事業者支援体制の確立
- ・HP等情報公開体制の整備
- ・相談窓口の設置 等

地域経済牽引支援機関

青梅商工会議所、一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）、青梅線沿線地域産業クラスター協議会

計画期間

計画同意の日から平成35年度末日まで

《促進区域図》



《市内企業で取り組むI o T技術導入の一例》

